

2025（令和7）年度

牧 陵 会 定 時 総 会 資 料

2025年6月7日（土）午後2時～
波止場会館5階 大会議室

開会
黙祷
牧陵会会長挨拶
議長選出
書記及び議事署名人の指名

【議事】

- 1 2024（令和6）年度牧陵会活動報告について
- 2 緑高創立100周年事業の報告について
- 3 2024（令和6）年度決算報告について
 - 1) 2024（令和6）年度決算報告
 - 2) 2024（令和6）年度会計監査報告
- 4 2025（令和7）年度活動計画について
- 5 2025（令和7）年度予算について
- 6 牧陵会役員について

【報告事項】

牧陵会からの各種委員会等選任について

1 2024（令和6）年度牧陵会活動報告

コロナ禍も過ぎ去り、マスクをしない日常が戻ってまいりました。牧陵会の活動も対面での開催がさらに増え、2024（令和6）年度はかねてより準備を進めていた100周年記念音楽祭「牧陵緑のフェスティバル～ぜんりょく音楽祭～」を催行しました。

こうした中、同期会やクラス会などの集まりも再開され、新事務所の活用や広報活動、各種交流事業も推進されました。牧陵会青年部の主導により、若い会員との交流機会づくり、SNS活用の検討なども進められています。一方、会費収入が年々減少する中、印刷費・郵送料の高騰により事業運営は難しくなっています。今後、長年会員に親しまれてきた「牧陵新聞」の年2回発行や各種事業について、見直しを検討する時期にきています。

1 会員相互の交流、親睦の場を提供する事業

(1) 2024（令和6）年度定時総会及び懇親会の開催

年次総会を開催するとともに、懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めました。

期 日：2024年6月1日（土）

会 場：（総会）波止場会館

（懇親会）英一番館

(2) スポーツ応援隊の実施

野球部の試合（全国高等学校野球選手権神奈川大会）を、野球部OB会と協力して応援隊を結成し、会員への参加を呼びかけました。

期 日：2024年7月8日（月） 対 伊志田高校 5-6（惜敗）

会 場：俣野薬大スタジアム

(3) 同期会幹事委員会の開催

新同期会幹事委員長の紹介、幹事委員の委嘱確認

期 日：2024年7月20日（土）

会 場：緑高

出席者：34名

(4) 第19回青春かながわ校歌祭への参加

県立高校同窓会が集い、各学校の校歌を披露しました。緑高からはチアリーダー部員の参加を得て、片倉正一氏（高校23期）の編曲・指揮、吹奏楽部OB・OGの伴奏のもと、三中校歌と緑ヶ丘高校校歌を高らかに歌い上げました。

期 日：2024年9月21日（土）

会 場：ひらしん平塚文化芸術ホール

参加校数：26 団体

参加者：約 70 名

牧陵会会員、緑高チアリーディング部員 23 名

(5) 牧陵緑のフェスティバル～ぜんりよく音楽祭～の開催

横浜緑ヶ丘高校創立 100 周年記念事業の一環として、同窓生による音楽祭を開催しました。出演者は多くの卒業生演奏家、この音楽祭のために結成された合唱団、卒業後も演奏活動を続けている OB・OG、在校生の吹奏楽部とクラシックギター部など、200 名以上が出演し、緑高生が「全力」を発揮したコンサートになりました。

期 日：2024年9月23日（月／振休）

会 場：神奈川県立音楽堂

(6) ホームカミングデイ

学校見学会という形で開催し、旧体育館や活発な部活動の様子などを見ることができました。

期 日：2024年11月2日（土）

会 場：緑高

(7) 2025 年牧陵会新年のつどい開催

獅子舞や吹奏楽部 OBOG による木管アンサンブルで大いに盛り上がりました。

期 日：2025年1月25日（土）

会 場：英一番館

出席者：中学 20 期～高校 53 期 68 名

(8) 牧陵会事務所の活用

役員会・委員会ははじめ各種打合せ、事務作業等に関内の事務所を活用しました。

2 母校の発展に寄与する活動

(1) 緑高祭開催支援

緑高祭を支援するとともに校史資料室において緑高創立 100 周年記念の展示を行いました。

期 日：2024年6月22日（土）、23日（日）

支援金：10 万円

(2) 生徒会誌「牧陵」の発行支援

「牧陵」第11号の発行を支援し、在校生に配布しました。

発行部数：1,000部

(3) 「緑高セミナー」への支援、卒業生の紹介

高校生を対象としたセミナーに牧陵会会員を講師として紹介しました。

(第1回)

テーマ：平台貝塚の発掘調査について

期日：2024年10月26日(土)

講師：弁護士 岡野隆男氏(高校15期)

(第2回)

テーマ：大学進学前にちょっと考えてみよう

期日：2024年11月19日(火)

講師：横浜国立大学経営学部教授 小林正佳氏(高校30期)

(4) 「学びの奨励基金」運営への協力

奨励金の交付を希望する在校生の研究について、基金運営委員会及び選考委員会で審査のうえ奨励金を交付しました。

研究内容：「Save The つり革難民」のアイテム考案

支給額：1万円

(5) 部活動への支援

アーチェリー部 関東大会 1万円

吹奏楽部 東関東大会 5万円

(6) 母校の運営への参画

学校運営協議会への出席

3 広報活動ほか、本会の活動基盤の強化を図るための諸活動

(1) 牧陵新聞の発行

緑高の近況や牧陵会行事の案内、同窓生の活躍など、牧陵会に係る各種関係情報を発信しました。

第47号 2024年8月10日(木) 15,237部

「会費振込取扱票」同封

第48号 2025年1月10日(金) 4,300部

(2) ホームページの更なる改善 SNS の活用の検討

ホームページをリニューアルし、情報を探し易いよう改善しました。

(3) 宛先不明会員の解消、会員の情報の整備

住所不明会員の情報収集、HP への掲載、名簿の更新に取り組みました。

(4) 会費徴収方法の検討

コンビニ決済やスマホアプリ決済導入の費用対効果を検討しています。

4 新しい活動への取り組み

「牧陵会青年部」を正式に発足させ、若年層へのアプローチを強化する取り組みを始めました。

5 緑高創立 100 周年記念事業

100 周年事業委員会の構成団体として、様々な事業の企画・実施を支援しました。

- ・ 100 周年記念式典開催準備
- ・ 100 周年記念誌の編纂作業
- ・ 「牧陵緑のフェスティバル～ぜんりよく音楽祭～」の開催
- ・ 100 周年記念募金の継続対応

2 緑高創立 100 周年事業の報告について

横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業実施概要（中間報告）

横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会

2023（令和 5）年の 100 周年を祝うため、横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会を設置して様々な記念事業を実施しました。

設置：2019（令和 1）年 12 月 12 日

構成団体：横浜緑ヶ丘高校、後援三徳会、牧陵会（委員長は牧陵会代表）

- ・本委員会の委員より、記念募金委員会を設置し募金関係事務を行いました。
- ・委員会の元に実施に係る担当を設け、それぞれの団体より担当者を選任して、事業実施に当たりました。

事業実施期間：2023（令和 5）年 4 月～2025（令和 7）年 5 月

※生徒会館改修等は引き続き実施

【主な事業】

1 記念式典

（1）開催日

2025（令和 7）年 5 月 23 日（金）

（2）会場

横浜緑ヶ丘高等学校 新体育館

（3）出席者

全校生徒教職員（約 900 名）、後援三徳会会員・牧陵会会員（約 300 名）

（4）招待者（36 名）

神奈川県副知事、神奈川県教育長、関係中・高等学校校長及び高校同窓会長
関係自治会町内会長、在籍経験教職員

（5）式次第

第 1 部 式典（挨拶、祝辞、寄付目録披露）

第 2 部 学校の歴史紹介、記念講演、在校生活動紹介

※ 歴史市資料展示（式典会場隣の格技場にて実施）

2 記念誌の編集発行 2025（令和 7）年 5 月 1 日発行

（1）作成方法

既刊の 60・70 周年記念誌を転載し、それ以降 100 周年までを編纂しました。

（2）制作物

記念誌（上巻及び下巻のセット、計 877 頁）及び記念誌収録の DVD

※その他、記念誌ダイジェスト版を記念式典参加者に配布

(3) 制作数

1,000 部

会員等への頒布、国会図書館への納本、公共図書館・関係高校等へ寄贈

3 ぜんりよく音楽祭

(1) 開催日

2024 (令和6) 年 9 月 23 日 (月・振替休)

(2) 会場

神奈川県立音楽堂

(3) 出演者 (204 名)

- ・卒業生演奏家
- ・100 周年記念合唱団 (卒業生・在校生合同)
- ・在校生部活動 (クラシックギター部、吹奏楽部)

(4) 来場者

695 名

4 在校生記念事業

(1) 100 周年記念芸術鑑賞会 (アンサンブルF ムジカ スペシャル 12)

期 日：2024 (令和6) 年 11 月 28 日 (木)

会 場：鎌倉芸術館

鑑賞者：全校生徒、後援三徳会及び牧陵会の会員

(2) 記念品の配布

2023 (令和5) 年 マグカップ

2024 (令和6) 年 トートバッグ

2025 (令和7) 年 クリアホルダー

5 新聞企画ページによる広報 (2025 年事業)

地元メディアに 100 周年企画記事を掲載し、地域の方を中心に学校の 100 周年を広報します。紙面買取りでもあるが、別途広告を募り、不足分を委員会で負担します。

対象紙：神奈川新聞

タウンニュース (中・西・南区版及び磯子・金沢区版)

6 教育環境整備

- ・体育館新設が県の通常予算で実施されており、大きな施設整備が図られました。
- ・他方で、県の通常予算では不足する環境整備について、幾つかの候補を想定して、記念募金で対応することとしました。それを記念募金の内のまなびや募金 (県のまなびや基金分) として募集を始めました。(令和5年募金開始時)
- ・その後、体育館工事と並行して新体育館用の備品の整備など、学校と県が調整を進めたところ、体育館の備品はほぼ希望通り整い、一方で、食堂の改修も県が実

施することから、学校の希望は冷風機の設置と生徒会館の改修となり、具体的な募金目標としました。

- ・整備の実施は県により行われ、財源は緑高のまなびや基金が当てられます。

【事業経費】

- 収入は後援三徳会の積立金、及び牧陵会を中心とした記念募金を主な収入として、音楽祭入場料、記念誌頒布料などの収入を合わせています。

収入総額見込み	後援三徳会積立金より	16,000 千円
	記念募金	28,000 千円
	その他収入	2,200 千円 (音楽祭、記念誌頒布収入)
	合計	46,200 千円
		(まなびや基金分 14,000 千円、その他 32,200 千円)

- 支出は直接事業費、及び募金案内などの関係経費を支出するとともに、教育環境整備を除く事業での残額 (6,000 千円) を教育環境整備費に充当する予定です。同残額をまなびや基金に納付することとしています。

支出総額見込み	記念式典・記念誌	9,000 千円
	記念イベント	5,000 千円
	広報・生徒記念品	4,000 千円
	募金事務、事務局費	8,200 千円 (募金案内、記念誌送料等)
	教育環境整備	20,000 千円 (冷風機、生徒会館改修)
	合計	46,200 千円

【記念募金】

募金期間：2023（令和5）年6月から2025（令和7）年5月まで

収入額見込み：2025（令和7）年4月まで 合計 28,000 千円

(内訳)

一般分 : 14,000 千円

まなびや基金分 : 14,000 千円

【委員及び担当者（牧陵会のみ、敬称略）】

- 横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会委員 (9 名中・牧陵会は 4 名)

池田加津男 (委員長)、直井ユカリ、向井信一、浅見哲治、

- 100 周年事業委員会担当者 (29 名中・10 名)

記念式典担当 : 小林道昭・吉野丈仁

記念誌担当 : 片倉正一・丸茂健一

教育環境整備担当 : 美濃一代・大沢正道

記念イベント担当 : 中山敏章・中村ひとり

記録・広報 : 小松崎敏彰・宮本太郎

3 2024（令和6）年度牧陵会決算報告書

【収入の部】

（一般会計）	2024年度決算額	2024年度予算額	増減額	決算額内訳
会費収入	4,184,000	5,000,000	△ 816,000	2,000円×2,092名
寄付金収入	2,880,346	3,000,000	△ 119,654	
新年会収入	438,000	490,000	△ 52,000	7,000円×62名 2,000円×2名
雑収入	46,800	238,003	△ 191,203	三徳会コピー機使用料26,400円 三徳会交通費立替20,400円
入会金	825,000	840,000	△ 15,000	3,000円×275名
100周年委員会より入金	2,607,895	0	2,607,895	
受取利息	3,297	0	3,297	
小計	10,985,338	9,568,003	1,417,335	
（特別会計）				
活動維持積立金取崩益	2,000,000	2,000,000	0	
繰越損益	22,000	1,431,997	△ 1,409,997	
小計	2,022,000	3,431,997	△ 1,409,997	
収入合計	13,007,338	13,000,000	7,338	

【支出の部】

（一般会計）	2024年度決算額	2024年度予算額	増減額	決算額内訳
通信費	83,725	80,000	3,725	電話料 58,473円 切手はがき他 18,652円 プロバイダー料 550円×12ヶ月
総会・幹事会開催費	107,416	70,000	37,416	総会会場費他15,100円 はがき代 63,000円 同期会幹事委員会はがき代 29,316円
事務所賃借料	1,266,549	1,270,000	△ 3,451	家賃・共益費98,010円×12 電気料金他90,429円
事務局人件費	1,255,244	1,848,000	△ 592,756	事務局長 597,000円 事務局員226,500円 応援者 218,000円 通勤費 213,744円
印刷複写費	104,207	450,000	△ 345,793	コピーカウンター料
事務機器賃借料	192,720	200,000	△ 7,280	コピー機リース料
会費等振込手数料	427,420	450,000	△ 22,580	会費・寄付金振込手数料
事務用品等	162,357	110,000	52,357	弥生会計サポート料 54,560円 封筒作成 33,550円 事務用品 74,247円
総務部会運営費	71,028	50,000	21,028	交際費 21,842円 dropbox使用料17,490円 事務所備品27,570円 銀行カード他4,126円
会員活動費	417,050	390,000	27,050	同期会支援 380,000円（8同期会分） 同好会支援 37,050円（緑樹会・吹奏楽団）
事業活動費	3,112,692	2,000,000	1,112,692	校歌祭153,310円 スポーツ応援隊34,743円 音楽祭2,367,375円 100周年委員会△1,362,375 新年会557,264円
100周年委員会 事業活動費実額	△1,362,375 <1,750,317>			
広報費	6,950,187	5,380,000	1,570,187	47号・発行費2,827,241円 郵送費2,019,079円 48号・発行費918,735円 郵送費598,819円 牧陵作成費506,165円 HP運営費80,148円 100周年募金記念誌チラシ代他△1,245,520
100周年委員会 広報費実額	△1,245,520 <5,704,667>			
牧陵校史資料室運営費	20,619	130,000	△ 109,381	コピー機リース料・カウンター料
母校活動支援金	160,000	200,000	△ 40,000	緑高祭100,000円 吹奏楽部50,000円 アーチェリー部10,000円
記念事業積立金	0	100,000	△ 100,000	
予備費	0	250,000	△ 250,000	
支出合計	14,331,214	12,978,000	1,353,214	

収支差額	△1,323,876		
------	------------	--	--

特別会計

	期首残高	預金利息	一般会計へ繰入	期末残高
牧陵会基金積立金	10,791,611	897		10,792,508
記念事業積立金	2,658,561	52		2,658,613
活動維持積立金	4,067,355	164	2,000,000	2,067,519
積立金合計	17,517,527	1,113	2,000,000	15,518,640
事務所差入保証金				
サンビル事務所敷金	427,680			427,680
特別会計合計	17,945,207	1,113	2,000,000	15,946,320

積立金銀行残高	横浜信用金庫	14,520,380
	横浜銀行元町支店	998,260
合計		15,518,640

一般会計資産

現金	手許有高	146,653
普通預金	ゆうちょ銀行振替口座	253,542
	ゆうちょ銀行通常口座	792,356
	横浜銀行元町支店	417,789
普通預金合計		1,610,340
未収入金	ペイパル令和6年度未収額	197,000
流動資産合計		1,807,340
貯蔵品	往復はがき100枚	17,000
仮払金	100周年委員会通信費	51,000
一般会計資産合計		1,875,340

一般会計負債

未払費用	ペイパル振込手数料	9,832
仮受金	100周年記念誌代金	1,780,500
一般会計負債合計		1,790,332

上記の通り報告いたします

令和7年3月31日

神奈川県立横浜緑ヶ高等学校同窓会

牧陵会会長 直井ユカリ

3-2) 監査報告書

令和6年度(2024年度)牧陵会会計決算監査報告書

令和6年度一般会計及び特別会計の決算書につき帳簿及び関係書面を照合した結果、その運用は構成かつ適正に行われたことを認めます。

令和7年5月³⁰日

会計監査

株田 政義

4 2025（令和7）年度牧陵会活動計画について

母校・横浜緑ヶ丘高等学校（緑高）は、2023年に創立100周年を迎えました。これを記念して、学校、後援三徳会とともに100周年委員会を組織し、これまで記念募金の実施や学校活動への支援、記念事業に取り組んできました。当初2024年11月に開催を予定していた創立100周年記念式典は、会場となる体育館の竣工遅れにより延期され2025年5月23日（金）催行されることになりました。

現在、緑高はスーパーサイエンスハイスクール（文部科学省指定）、学力向上進学重点校（神奈川県指定）として、次代を担うリーダーを育成することを目指し、次の100年に向けてますます発展をしています。

牧陵会についても100年近い歴史を重ね、数多くの会員が日本の各界各層に留まらず、世界的な活躍をしています。一方で近年、会費納入者が減少しており、伝統ある高校同窓会として持続可能な組織としていくために会費収入の確保が最大の課題となっています。特に、現役世代の会員からの納入率が低く、早急に対策を講じることが重要です。

2025（令和7）年度は、会員相互のさらなる交流と親睦を深めること、母校の発展に寄与していくことはもとより、未来に向けて持続可能な強固な組織体制を維持していくために、会費収入の増や若手会員の関与を高めていくことを最重点として活動します。

1 会員相互の交流、親睦の場を提供する事業

(1) 2025（令和7）年度牧陵会総会・懇親会の開催

年次総会を開催するとともに、懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めます。

期 日：2025年6月7日（土）

会 場：（総会）波止場会館

（懇親会）中華街・大珍楼

(2) スポーツ応援隊の実施

運動部の試合（県大会以上）を部活OB会と協力して応援隊を結成し、会員に参加を呼びかけます。

(3) 牧陵・緑のフェスティバル

ホームカミングデーとして母校に集まる機会を提供し、会員同士の親睦を深めるとともに愛校心及び同窓会への帰属意識を育みます。

期 日：2025年11月15日（土）

会 場：緑高

参加者：牧陵会会員、緑高在校生など

内 容：未定

(4) 同期会幹事委員会の開催

牧陵・緑のフェスティバルと同日に、各年代の同期会幹事の交流会を実施し、情報交換と親睦を深めることで世代を超えた繋がりをつくっていきます。

期 日：2025年11月15日（土）
会 場：緑高
内 容：未定

(5) 第20回青春かながわ校歌祭への参加

神奈川県立高等学校同窓会が一堂に会し、母校の校歌を斉唱することで会員相互の交流を促進します。参加にあたっては可能な限り在校生の参加も呼びかけます。

期 日：2025年10月18日（土）
会 場：やまと芸術文化ホール（運営幹事校：神奈川県立川崎高等学校）
参加者：牧陵会会員（及び緑高在校生）、県立高校同窓会
内 容：未定

(6) 牧陵会新年のつどい開催

新年を祝うとともに会員相互間の交流を図り、親睦を深めます。

期 日：2026（令和8）年1月
会 場：未定
参加者：会員、来賓

(7) SNSを活用した情報発信及び交流の促進 **新規**

若年層が日常的に接するSNS（Instagram）を活用し、若手会員との接点を新たに創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高めます。

(8) 同期会開催支援

各期の同期会開催にあたり、会員情報の提供や支援金を支出します。

(9) その他

会員同士の親睦や在校生との交流を促進する事業の支援、企画・実施

- ・牧陵会員の主催するスポーツ・文化催事を各部会と連携し応援します。
- ・会員による同好会の結成及び活動を支援します。

2 母校の発展に寄与する活動

(1) 「学びの奨励基金」運営への協力

生徒の主体的な学びに対して奨励金を交付する基金の運営、選考に協力します。

- ・運営委員（3名）
- ・選考委員（3名）

(2) 緑高祭開催支援

緑高生の最大行事のひとつである緑高祭の開催を支援します。

期 日：2025年6月14日（土）～15日（日）
会 場：緑高
内 容：開催支援金の交付、校史資料室での展示

- (3) 「緑高セミナー」開催支援
在校生を対象に開催するセミナーへの講師派遣など、開催を支援します。
期 日：未定（年2回）
会 場：緑高
内 容：未定（学校と調整）
- (4) 母校の運営への参画
学校運営協議会への委員就任（2名）
- (5) その他、母校及び在校生への支援

3 広報活動ほか、本会の活動基盤強化を図るための事業

- (1) SNS（Instagramを活用した情報発信）を通じた交流 **新規（再掲）**
若年層が日常的に接する SNS を活用し、若手会員との接点を新たに創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高めます。
- (2) 牧陵新聞の発行
牧陵会行事の案内、学校の様子や同窓生の活躍などを紹介します。なお、牧陵新聞の発行回数、送付方法、電子化への移行など今後の方向性を検討します。
第49号 2025（令和7）年8月発行予定
- (3) ホームページの改善及び活用
新着情報がわかりやすく告知できるページ構成に改善するとともに、多くの会員にアクセスしてもらえる方法を検討・実施します。
- (4) 宛先不明会員の解消、会員情報の整備
- (5) 会費納入率向上及び収支見直し
年々低下している会費納入率の向上策を検討します。併せて、経費削減策を検討し、実施します。

4 学校創設100周年記念事業【主催：100周年事業委員会】

緑高、後援三徳会、牧陵会により組織した100周年事業委員会事業に協力します。

- 100周年記念誌の発行
期 日：2025年5月発行
内 容：冊子及びDVD
- 記念募金
募金周知のための活動支援

- 創立 100 周年記念式典の催行
 - 期 日：5 月 23 日
 - 会 場：横浜緑ヶ丘高校体育館
 - 参加者：在校生、来賓、後援三徳会、牧陵会
- メディアへの創立 100 周年特集記事掲載による P R
 - ・神奈川新聞（5 月 23 日発行） 16,000 部（抜き刷り 1,500 部）
 - ・タウンニュース 西・中・南区版、及び磯子・金沢区版（6 月 12 日発行）
- 生徒会館補修への支援
 - 老朽化が進んでいる学生会館（部室棟）の補修経費について支援します。
 - 詳細は学校と相談

2025(令和7)年度 牧陵会活動内容及び実施予定日

実施予定日	時間	活動内容	開催場所
【2025（令和7）年】			
5月23日（金）	12:30～ 14:00	創立100周年記念式典	緑高
5月23日（金）		創立100周年メディア広報	神奈川新聞
6月12日（木）			タウンニュース
5月		100周年記念誌発行	
6月7日（土）	14:00～	2025（令和7）年度総会	波止場会館5階
	17:00～	総会懇親会	大珍楼 （中華街）
6月14日（土）		緑高祭 校史資料室での展示	緑高
6月15日（日）			
7月（予定）	未定	スポーツ応援隊	未定
8月		牧陵新聞発行	—
10月18日（土）	未定	第20回青春かながわ校歌祭	やまと芸術文化 ホール
11月15日（土）		牧陵・緑のフェスティバル	緑高
【2026（令和8）年】			
1月（予定）	未定	牧陵会新年のつどい	未定

5 2025（令和7）年度 牧陵会予算案

【収入の部】

	2025年度予算額	2024年度決算額	増減額	予算額内訳
会費収入	4,700,000	4,184,000	516,000	2,000円×2,350名
寄付金収入	3,500,000	2,880,346	619,654	寄付金想定3,000円×900名 800円×1,000名
新年会収入	455,000	438,000	17,000	7,000円×65名
雑収入	50,000	46,800	3,200	三徳会コピー機使用料他
入会金	840,000	825,000	15,000	2026年3月入会見込み 3,000円×280名
100周年委員会		2,607,895	△ 2,607,895	
受取利息	5,876	3,297	2,579	
単年度収入計	9,550,876	10,985,338	△ 1,434,462	
前年度繰越金	△1,323,876	22,000	△ 1,345,876	
積立金取崩額		2,000,000	△ 2,000,000	
収入合計	8,227,000	13,007,338	△ 6,214,800	

【支出の部】

	2025年度予算額	2024年度決算額	増減額	予算額内訳
通信費	80,000	83,725	△ 3,725	電話料 60,000円 切手はがき他 20,000円
総会・幹事会開催費	42,000	107,416	△ 65,416	総会会場費 13,400円 はがき代 22,000円 プロバイダー料 550円×12
事務所賃借料	1,270,000	1,266,549	3,451	家賃・共益費98,010円×12 電気料金93,880円
事務局人件費	680,000	1,255,244	△ 575,244	事務局長 600,000円 通勤費 80,000円
印刷複写費	100,000	104,207	△ 4,207	コピーカウンター料
事務機器賃借料	200,000	192,720	7,280	コピー機リース料
会費等振込手数料	350,000	427,420	△ 77,420	会費・寄付金振込手数料
事務用品等	82,000	162,357	△ 80,357	弥生会計ソフト料 54,560円事務用品 27,440円
総務部会運営費	30,000	71,028	△ 41,028	dropbox使用料17,490円 事務所備品8,110円銀行カード4,400円
会員活動費	300,000	417,050	△ 117,050	同期会支援 200,000円（11期分予定） 同好会支援 100,000円（6団体）
事業活動費 100周年委員会	1,030,000	3,112,692	△ 2,082,692	校歌祭160,000円スポーツ応援隊30,000円 緑のフェスティバル600,000円 新年会220,000円 活動費20,000円
広報費 100周年委員会	3,333,000	6,950,187	△ 3,617,187	49号・発行費/郵送費3,253,000円 HP運営費80,000円
会員（青年）部会活動費	430,000			SNS発信諸経費
牧陵校史資料室運営費	140,000	20,619	119,381	資料室改修費他140,000円
母校活動支援金	160,000	160,000	0	緑高祭100,000円 部活動2件60,000円
支出合計	8,227,000	14,331,214	△ 6,534,214	

6 牧陵会役員について

本年度は役員の改選期ではありませんが、会員部会の再独立にあたり事業全体の取り組みへの強化を図るため、臨時に役員の異動、選任を行います。また、会計監査の浦邊氏が一身上の都合により退任を希望されていることを受け、新たに1名の会計監査の選任を行ないます。

ついては、次のとおり役員を選任したいので、牧陵会会則第8条及び第10条の規定に基づき推薦します。なお今回の役員の任期については、2024年度に改選した役員の任期途中の交代、補充であることを鑑み、役員任期の残余期間である1年間といたします。

(※総会議案対象は太字の3名)

役職名	氏名	卒業期	備考
会長	直井ユカリ	高32期	
副会長	美濃 一代	高22期	総務部会担当
副会長	中山 敏章	高22期	事業部会担当
副会長	小林 道昭	高28期	会員部会担当 校史資料室運営部会担当
副会長	小松崎敏彰	高21期	新任 広報部会担当
総務部会長	丸茂 健一	高44期	
総務部会副部会長	吉野 丈仁	高31期	新任
会員部会長	田原 正崇	高44期	新任
会員部会副部会長	砂川 裕美	高46期	新任
会員部会副部会長	佐藤 颯	高73期	新任（青年部会長）
事業部会長	中村ひとり	高26期	
事業部副部会長	山崎 愛	高46期	新任
広報部会長	西尾 匡弘	高33期	
広報部会副部会長	宮本 太郎	高23期	
校史資料室運営部会長	片倉 正一	高23期	
校史資料室運営部会副部会長	小島 淳子	高32期	
事務局長	木村 徹	高21期	
会計監査	林田 政義	高15期	
会計監査	小濱 千丈	高31期	新任
相談役	鈴木 正次	高11期	
相談役	峯嶋 利之	高12期	
相談役	山下東洋彦	高13期	
相談役	池田加津男	高21期	

※任期は2024（令和6）年6月1日（総会）から2年間